

第47期 （令和6年度）

事業報告書

【経営理念】

周りの人の幸せを願うところに
自らの幸せもある



社会福祉法人

寿 光 会

目 次

1	法人沿革	・ ・ ・ ・ 3P～4P
2	法人概況	・ ・ ・ ・ 5P
3	第47期 令和6年度 事業報告書	・ ・ ・ ・ 6P
4	法人重要会議等開催状況	・ ・ ・ ・ 7P
5	(1) 業績ハイライト (3ヵ年比較)	・ ・ ・ ・ 8P
6	(2) 拠点別 (同一敷地内) (3ヵ年比較)	・ ・ ・ ・ 9P
7	(3) 事業別セグメント (特別養護老人ホーム・ 短期入所生活介護)	・ ・ ・ ・ 10P
8	(3) 事業別セグメント (通所介護・訪問介護)	・ ・ ・ ・ 11P
9	(3) 事業別セグメント (認知症対応型共同生活介護・ 本部・診療所/その他)	・ ・ ・ ・ 12P
10	(4) 令和6年度各事業稼働状況一覧表	・ ・ ・ ・ 13P
11	(5) 地域貢献事業	・ ・ ・ ・ 14P
12	(6) トピックス	・ ・ ・ ・ 15P
13	(7) 今後の課題	・ ・ ・ ・ 16P
14	(8) 職員構成状況	・ ・ ・ ・ 17P

法人沿革

年/月/日

- S53/2/22 社会福祉法人寿光会 法人設立 **初代理事長：今川 光子**
- S53/4/1 特別養護老人ホーム寿光園（定員 70 名）開設
法人の主たる事務所を八尾市大字楽音寺 318 番地に置く
- S55/11 特別養護老人ホーム柏原寿光園新築工事開始
- S55/11 八尾市デイサービスセンター寿光園新築工事開始
- S56/2/1 八尾市デイサービスセンター寿光園（定員25名）開設
- S56/8/1 特別養護老人ホーム柏原寿光園（定員50名）開設（寿光会で2番目の拠点となる）
- S59/10/29 八尾市第27次町名地番号改正により、寿光園の住所が、八尾市大字楽音寺318番地から八尾市楽音寺二丁目125番地に変更となる（法人の事務所住所も同様に変更）
- S63/6/13 設立時の理事長 今川光子から、理事長 板倉直明に変更 **2代目理事長：板倉 直明**
- H2/4/1 寿光園で八尾市の委託事業、訪問入浴・ホームヘルパー派遣事業・A型デイサービス開始
- H3/4/1 寿光園で、在宅サービス供給ステーション事業（大阪府）・在宅介護支援センター事業開始
- H4/4/1 八尾市ショートステイ事業を受託し、寿光園・柏原寿光園で開始
- H7/11 柏原在宅サービス供給ステーションの新築工事開始
- H8/4/1 柏原寿光園で、在宅サービス供給ステーション・A型デイサービス及び身体障害者デイサービス事業開始
- H12/4/1 グループホーム寿光園（定員9名）開設
寿光園拠点・柏原寿光園拠点で介護保険事業を開始。制度に則り両拠点で居宅介護支援事業所も開設
- H18/6/1 今川デイサービスセンターを医療法人銚生会から買取
寿光会今川デイサービスセンターとして開始
- H19/4/1 地域包括支援センター事業「八尾市地域包括支援センター寿光園」開設
- H20/3/31 2代目理事長：板倉直明 療養のため退任
- H20/4/8 臨時役員会により3代目理事長に三木明就任 **3代目理事長：三木 明**
- H22/4/1 寿光園新館増築により個室ユニットケア開始 寿光園訪問入浴・訪問給食事業廃止
- H22/5/21 理事長三木明から4代目理事長：板倉嘉孝に交代 **4代目理事長：板倉 嘉孝**
- H22/9 寿光園本館の改修工事で、ショートステイ事業を増床（6床から19床へ増床）
- H22/10 デイサービスセンター寿光園を、デイセンターの建物から寿光園本館の1階へ移転
- H23/4/1 柏原地域密着型高齢者施設「太寿」開設（寿光会で3番目の拠点となる）
特別養護老人ホーム太寿 29 床（個室ユニットケア）
グループホーム 9 床・ショートステイ太寿 10 床
- H26/4 寿光園の個室ユニット部分（16 床）が地域密着型特養ホームに転換。従来型特養は 54 床となる

- H27/3/1 八尾地域密着型高齢者施設「楽寿」開設（寿光会で4番目の拠点となる）
 （特別養護老人ホーム楽寿29床（個室ユニット）・ショートステイ楽寿10床及び
 今川デイサービスセンター（定員30名）
 （今川デイサービスセンター定員30名を「楽寿」に移転、特別養護老人ホーム楽寿に併設
 今川デイの建物は、医療法人幸晴会に売却）
 法人の主たる事務所を、八尾市神宮寺一丁目154番地（楽寿内）に移転
- H27/4/1 今川デイサービスセンターからデイサービスセンター楽寿へ名称変更
- H28/3/31 柏原寿光園拠点の福祉用具貸与事業廃止
- H28/12/1 柏原寿光園デイサービスセンターを、地域密着型デイサービスセンターに変更し、
 定員が25名から18名になる
- H29/4/1 地域包括支援センター事業「八尾市地域包括支援センター楽寿」開設
- H29/5/1 デイサービスセンター楽寿定員30名から定員25名へ定員変更
- H29/6/21 理事長板倉嘉孝から5代目理事長：森田浩稔に交代 **5代目理事長：森田 浩稔**
- H30/3/1 柏原寿光園を建替え整備、安堂から柏原市高井田に新築移転し開設。特養で10床増床
 特別養護老人ホーム柏寿（小規模従来型30床）・ショートステイ柏寿（多床室型10床）
 特別養護老人ホーム高寿（小規模ユニット型30室）
 ショートステイ高寿（ユニット型個室10室）
 地域密着型デイサービスセンター高寿定員18名、身体障害者デイ 定員5名
 柏原寿光園ホームヘルプセンター・柏原ケアプランセンター寿光園
- H30/4/1 柏原寿光園拠点の建物内（4階）に住宅型有料老人ホーム「安寿」18室を開設
- H31/4/1 寿光園のショートステイ19床の内、6床を従来型特養ホームに転換
 従来型特養の定員が54床から60床に変更
- H31/4/1 寿光園デイサービスセンターを、地域密着型デイサービスセンターに変更し、
 定員が20名から18名に
- R3/4/1 元柏原寿光園（安堂）の建物を解体し、
 「グループホーム令寿の杜」（2ユニット18床）を新築、開設（寿光会で5番目の拠点となる）
- R5/7/1 デイサービスセンター楽寿定員25名から定員30名へ定員変更
- R5/7/31 柏原市生活支援事業の運営に関する協定（身体障害者のデイ）の契約解除
- R5/8/1 住宅型有料老人ホーム安寿の事業廃止
 住宅型有料老人ホーム安寿の施設等の資産を、特養ホーム柏寿、特養ホーム高寿に移管、承認
- R5/2/22 令寿の杜の敷地の柏原市安堂1008番地から1022番地までを合併し、1008番1と1008番2に分筆登記
- R5/9/28 令寿の杜の敷地の里道部分1008番2 {169.32㎡} を柏原市に寄付して登記
 「土地」の地番変更登記、「建物」の敷地地番変更登記も完了し、資産減の定款変更も完了

法人概況



法人の名称	社会福祉法人寿光会
理事長	森 田 浩 稔
主たる事務所の住所	大阪府八尾市神宮寺1丁目154番地
主たる事務所の電話番号	072-943-3602
法人のホームページアドレス	https://jyukokai.org/
法人の設立認可年月日	昭和53年2月8日
法人の設立登記年月日	昭和53年2月22日
評議員数	8名
理事数	7名
監事数	2名
職員総数	338名 令和7年3月31日現在

【経営理念】 周りの人の幸せを願うところに、
自らの幸せもある。

【ケア目標】

入居者・利用者のそれぞれの生活スタイルが尊重され、主体的にその人らしく、心穏やかに暮らせる場の創造を目指します。

【ケア方針】

- 1) 入居者・利用者及びご家族の意向にそった支援に努めます。
- 2) 有する能力を活かし、自律心を尊重した支援に努めます。
- 3) 居宅介護の継続性と地域との関係を重視した支援に努めます。
- 4) 精神的・身体的拘束のない介護に徹します。
- 5) 個々の考え方が尊重され、共通ルールは必要最小限にとどめるように努めます。
- 6) 職員が相互に協力して、チームケアに取り組みます。

【職員モットー】

自らが入居・利用したいと思う施設の創造



第47期 令和6年度 事業報告書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

社会福祉法人 寿光会

令和6年度、社会福祉法人寿光会の運営に際し、ご利用者・ご家族・関係諸機関等の皆様の多大なご支援とご高配を賜りましたことに厚く御礼申し上げます。令和6年度は法人運営に多大な影響を与えた新型コロナウイルス感染症もパンデミックのような状況はなくなりましたが、インフルエンザやノロウイルス等その他多くの感染症も流行しました。当法人の一部の拠点のショートステイやデイサービスでも新型コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス感染症が発生し、サービス提供を一時制限した事業もあって、稼働状況に影響しました。そんな状況下の令和6年度の法人では、総じて入居系事業が入院者や退居者が多く出たことと入居待機者の減少が相まって、高い稼働率を維持しきれず苦戦しました。在宅系の事業では、通所系サービスと訪問系サービスで明暗が分かれ、デイサービスは稼働率を大きく伸ばした拠点があった半面、ヘルプ事業は職員の高齢化や人員不足により、ニーズがあっても対応しきれず業績が下がりました。また、令和5年度に引き続き年度当初から継続的な物価の高騰があり、さまざまな購入物品や食材料費の値上げ、光熱水費の増額が続いて経営面のダメージとなりました。加えて本年度も人事面で職員確保の課題が大きく圧しかかり、介護職だけでなく相談業務の職員や介護支援専門員等も確保が難しい拠点が出てきました。職員の待遇改善や人材育成の研修にも努めて人材の確保を目指しましたが、思うに任せない状態が続いています。そのため職員確保の方策の一つとして、特定技能や留学生等の外国人人材の受け入れ・育成をさらに進めました。受け入れた人材に対する日本語や専門知識の学習、日常生活のサポート等支援により、定着と育成に努めました。また介護報酬改定に伴って義務化された多くの研修については、法人内で合同研修会を実施して研修機会を増やす工夫をしてきました。さらに法人内各委員会では、法人内の共通の課題や重要課題に関する協議を行って、共通認識や意思確認、対応策の検討を進めました。地域貢献事業では「宅配フードパントリー」事業の実施と、単体事業拠点の令寿の杜を除く4拠点施設で、各拠点の周辺地域在住の要支援・要介護未認定の高齢者を対象に「高齢者ふれあいサロン」事業を定期的に開催しました。「法人の長期課題の検討と対策」に関しては、本年度も寿光園本館の老朽化に伴う対策について大規模改修の方向に絞って検討を進めており、関係機関等と連携しながら検討を継続しました。

事業の全体的な運営状況は、一部の事業で感染症の発生や職員不足でサービスの利用制限をしたこともあり、事業によって高い稼働状況となったものと、そうでないものと明暗が分かれたのですが、事業の稼働状況以上に社会の経済状況が運営に大きな影響を及ぼしました。昨年度予測したとおり、本年度も物価の高騰により消耗品をはじめとして食材費や水光熱費の値上げがあり、人手不足による人件費の上昇なども続いて法人の収支を圧迫しました。本年度は介護報酬の改定がありましたが、介護職員等処遇改善費が1本化されて人件費補助のような形で若干増額されたものの、介護報酬本体では大幅な増額はなく、むしろ諸々の計画策定や多種多様な研修の実施等の義務が課されて（未実施減算あり）現場の負担はむしろ増えました。さらに今年に入って米国の政策の影響もあって世界の経済状況に懸念が生じており、日本の経済にも大きな影響が及ぶようなら、さらなる物価高や人件費の高騰などが生じて、労働集約的な事業である当法人の事業には大きな負担となってくることが予想されます。そのような中でも、法人には利用者へのサービスの質を担保していかなければならない責務があり、経理面に限らず、人材育成、災害対策などでの地域社会との連携等、一層の経営努力が求められるものと考えております。

法人重要会議等開催状況

1) 令和6年度 寿光会理事会・評議員会等開催状況及び役員・評議員等の参加状況

開催日	会議名称	形態	出席人数	会議の主な案件	
令和6年 5月22日	第1回 理事会（通常）	対面	(理事1名欠員)	1、令和5年度事業報告	5、就業規則等諸規程変更
			理事 6名	2、令和5年度決算案	6、理事候補者1名選定
			監事 2名	3、監事監査報告	7、役員退職慰労金規程の変更
				4、R5年度業務執行状況報告	8、定款変更の件
6月17日	定時評議員会	対面	評議員1名欠席	1、令和5年度事業報告	5、役員退職慰労金規程変更
			評議員7名	2、令和5年度決算案	6、定款変更に関する件
			監事 2名	3、監事監査報告	7、R6年度福祉充実計画の件
			理事 5名	4、理事（補欠）選任の件	
8月26日	第2回 理事会（臨時）	書面	理事 7名	1、賃金規則、職員給与規程等諸規程の変更について 2、介護職員等処遇改善支給規程策定について	
			監事 2名		
11月21日	第3回 理事会（臨時）	書面	理事 7名	1、経理規程・経理規程細則の変更の件 2、定款細則・就業規則・継続雇用規程変更の件	
			監事 2名		
令和7年 2月26日	第4回 理事会（通常）	対面		1、令和6年度補正予算案	5、就業規則等諸規程変更
			理事 7名	2、令和7年度事業計画案	6、重要な役職職員の人事の
			監事 2名	3、令和7年度予算案	7、留学生の奨学金法人保証の件
				4、R6年度業務執行状況報告	8、役員等賠償責任保険契約の件

2) 経営会議

延開催回数	開催日等	構成メンバー	延べ出席人数	会議の内容等
22回	原則月2回 水曜日	全理事7名	152人	1、毎月の財務分析 2、各拠点間の連携・問題提起等 3、各種規定作成・検討等

3) その他の法人内会議

※施設長・管理者会議 ※施設長・本部連携会議 ※運営検討委員会 ※法人研修委員会
※地域貢献委員会 ※長期課題検討委員会（寿光園本館建替え等検討委員会）

24期 理事会（7名）

監事（2名）

評議員会（8名）

理事長 森田 浩稔
理事 板倉 嘉孝
理事 福森 潔
理事 山下 恵利子
理事 大坪 正直
理事 児玉 英史
理事 中川 真

監事 藤田 修一
監事 小林 京子

（令和6年6月17日就任）

評議員 荒井 恵一
評議員 稲村 啓子
評議員 笠原 幸子
評議員 田中 米征
評議員 田中 幸子
評議員 細見 久視
評議員 山下 和子
評議員 芳林 正勝

4) 行政による実地指導

日時	施設名	形態	指導内容
令和7年 2月17日	グループホーム令寿の杜	対面	・運営規程に個人情報保護に関する事項が記載されていない。 ・運営規程のその他の費用（カット代）変更分の届出が未提出。 ・介護従事者1名分の資格証が確認できなかった。 以上の指導を受け、令和7年3月26日に改善報告を行う。

(1) 業績ハイライト

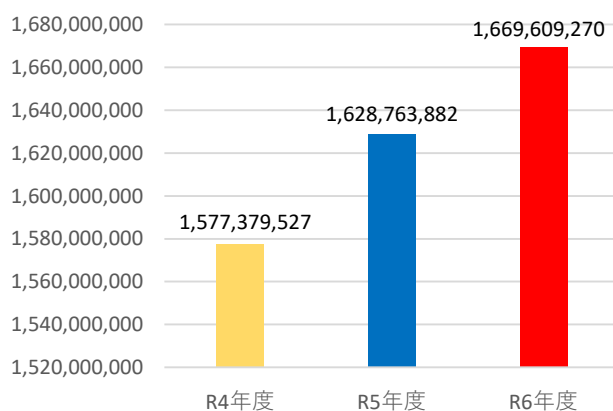
サービス活動収入

令和6年度の法人全体では、サービス活動収入は、前年度比で4,080万円程の増となりました。

事業別の収入は、特別養護老人ホーム事業が約1,700万円、デイサービス事業は約1,100万円グループホーム事業は、約2,500万円の増収でした。しかしショートステイ事業は約1,000万円の減収となりました。

グループホーム事業の増収は、令寿の杜の赤字解消が主な要因で、ショートステイ事業の減収は太寿以外の施設の稼働率減少が要因でした。

寿光会全体サービス活動収入

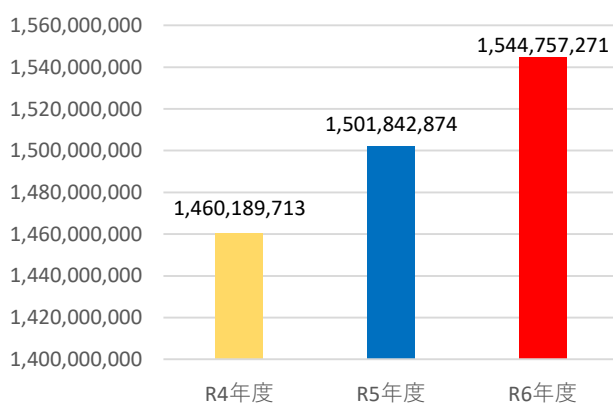


サービス活動費用

令和6年度のサービス活動費用では、前年度比で約4,290万円の増額となりました。主な増額分は、人件費が約2,900万円、事業費が約790万円、事務費が約730万円でした。

人件費に関する昨今の最低賃金等の大幅な上昇など、また事業費での水光熱費・食材料費・衛生用品の値上がりなど、事務費での、業務委託関係（外国人労働者・廃棄物処理等）や修繕費の増加（全拠点で共通）等がサービス活動費用の増額に大きな影響を及ぼしました。

寿光会全体サービス活動費用

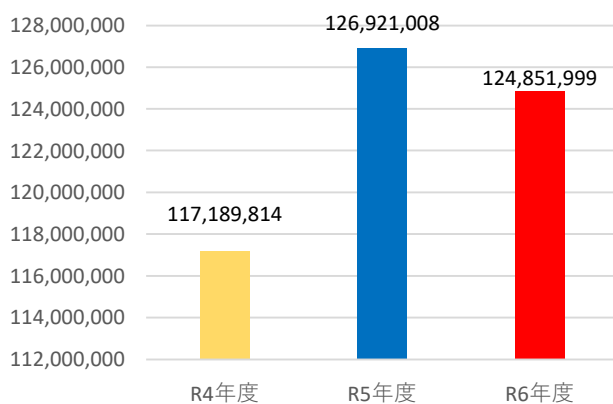


サービス活動収支差額

令和6年度の法人全体のサービス活動収支差額では、前年度比で約210万円の減益となりました。

グループホーム令寿の杜が、開設3年目にし、通年で2ユニットをほぼ満床で稼働させることができ、前年度赤字決算から510万円程の黒字に転換できましたが、ショートステイ事業の減収に加えサービス活動費の内、事業費、事務費等の増加や、法人全体で人件費が増加したことにより、全体的な費用の増大がサービス活動収支差額を圧縮し、昨年度より法人全体で約210万円の減益となりました。

寿光会全体サービス活動収支差額



(2) 拠点別（同一敷地内）

寿光園拠点の収入は、デイの稼働率の上昇などで約1,100万円増となりましたが、費用が約1,800万円増加した為、サービス活動収支差額は約700万円の減少となりました。柏原寿光園拠点では、ショート稼働率低下でサービス活動収入が約1,000万円減少し、サービス活動費用は前年比同等で、サービス活動収支差額は、約1,000万円減となりました。太寿拠点では、ショートの稼働率上昇により活動収入が約700万円増加し、活動費用の人件費が約300万円減少して、活動収支差額は約1,000万円増となりました。楽寿拠点では、ショートの稼働率が下がり減収でしたが、拠点の活動収入は約800万円増となりました。しかし活動費用が約1,100万円増加したため、活動収支差額は約300万円の減益となりました。令寿の杜では、約2,400万円増収でしたが、活動費用も約1,600万円増加して、活動収支差額は約800万円増となりました。

【高齢者総合ケアステーション寿光園】

特別養護老人ホーム（定員60名）

短期入所生活介護（定員13名）

通所介護（デイ）（定員18名）

認知症対応型共同生活介護（定員9名）

訪問介護（ヘルプ）

ケアプランセンター

八尾市地域包括支援センター寿光園

地域密着型特別養護老人ホーム（定員16名）

【高齢者総合ケアセンター柏原寿光園】

特別養護老人ホーム（定員60名）

短期入所生活介護（定員20名）

通所介護（デイ）（定員18名）

訪問介護（ヘルプ）

ケアプランセンター

【柏原地域密着型高齢者施設太寿】

特別養護老人ホーム（定員29名）

短期入所生活介護（定員10名）

認知症対応型共同生活介護（定員9名）

【八尾地域密着型高齢者施設楽寿】

特別養護老人ホーム（定員29名）

短期入所生活介護（定員10名）

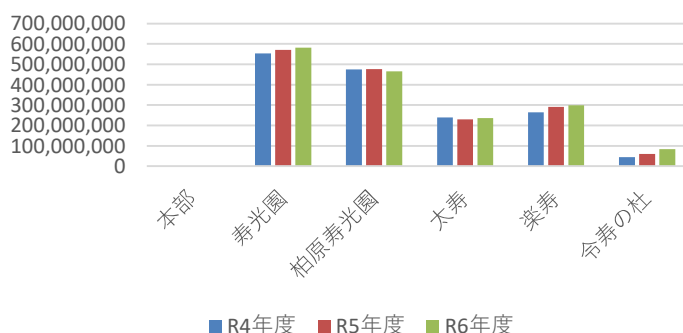
通所介護（デイ）（定員30名）

八尾市地域包括支援センター楽寿

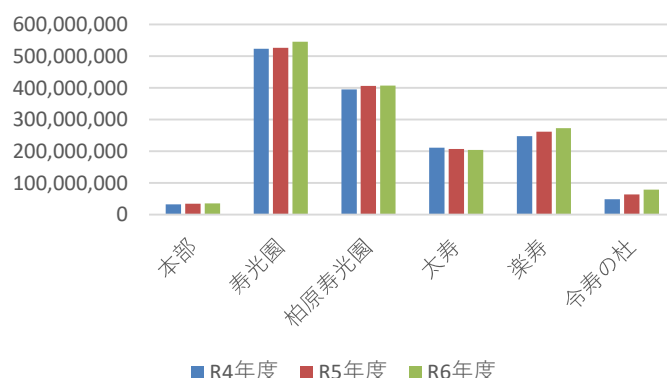
【グループホーム令寿の杜】

認知症対応型共同生活介護（定員18名）

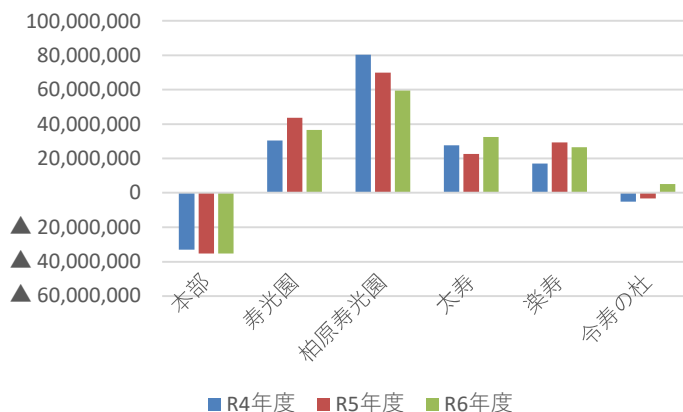
拠点別サービス活動収入比較



拠点別サービス活動費用比較



拠点別サービス活動収支差額比較



(3) 事業別セグメント

【特別養護老人ホーム】

サービス活動収入	サービス活動収支差額
1,020,911,986	収益率 8.5% 86,605,964
前期比 101.8%	前期比 90.8%

特別養護老人ホーム事業の収入は、法人全体の収入の過半数を占めており、法人経営を支えている基幹事業です。

令和6年度では、各拠点ではば計画稼働率を達成し、法人全体の特養平均稼働率として96.9%となりました。各拠点の稼働率は安定していましたが、物価高騰や設備の老朽化による修繕が多く、前年比で事業費、事務費が増加する結果となりました。また、利用料負担の減額認定条件が厳しくなったことや高齢者住宅への入居が増えたこと等によって、特養の入居申込者が減少傾向にあり、稼働率を維持する上で大きな課題となっています。

【短期入所生活介護】

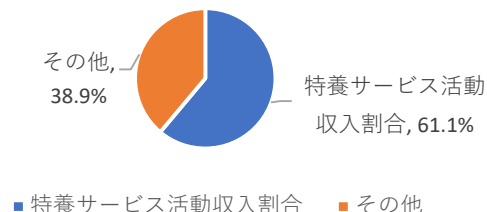
サービス活動収入	サービス活動収支差額
164,845,619	収益率 11.5% 18,993,096
前期比 94.2%	前期比 77.4%

短期入所生活介護の収入は、法人全体の9.9%です。

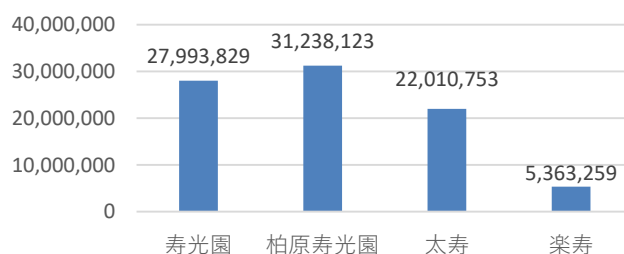
稼働率の前年度比では、各拠点で低下しており、計画した稼働率75%に対して全拠点が未達となりました。

昨年度に比べて長期の利用を希望する方が減少したことや、長期で利用されていた方が施設に入居されるケースが多かったこと、感染症により一時受け入れを制限した拠点もあったことが理由としてあげられます。また、太寿・楽寿拠点は個室で、部屋代の負担感が大きく、多床室のショートを選ばれる方も増加しており稼働率に影響を与える結果となりました。

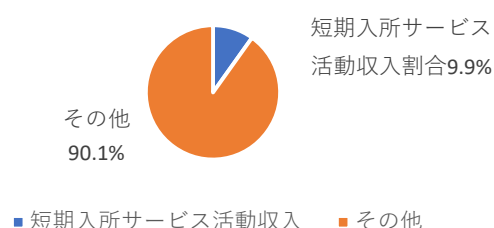
令和6年度（特養） サービス活動収入割合



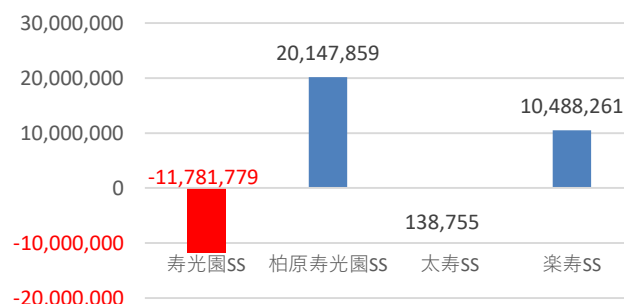
令和6年度拠点別（特養） サービス活動収支差額



令和6年度（短期入所） サービス活動収入割合



令和6年度（短期入所） サービス活動収支差額



【通所介護】

サービス活動収入	サービス活動収支差額
155,541,151	収益率 20,894,856
	13.4%
前期比 107.8%	前期比 123.2%

通所介護（寿光園・高寿は地域密着型）のサービス活動収入は、法人全体の収入の9.3%です。

サービス活動収入、及びサービス活動収支差額ともに前年度を上回りました。

寿光園・高寿・楽寿の各デイとも、当初の計画稼働率に到達しました。寿光園では前年度の稼働率を10%以上も上回り、増収増益となりました。

楽寿では年間を通じて稼働状況が堅調に推移し増収増益となりました。

高寿では、前年度と比較してほぼ同等の稼働率を維持できましたが、若干の減収と減益になりました。これは、上半期に稼働率が低下したことと同期の人材不足を補う為に、派遣職員を導入したことによる人件費の増加が影響しました。

【訪問介護】

サービス活動収入	サービス活動収支差額
36,949,572	収益率 2,254,175
	6.1%
前期比 91.4%	前期比 39.7%

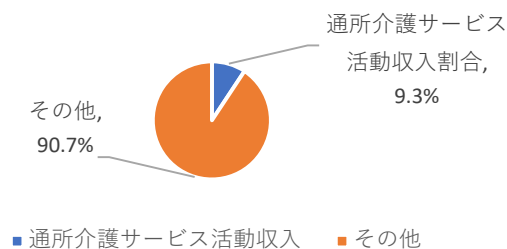
訪問介護のサービス活動収入は、法人全体の収入の2.2%です。

寿光園では新規の依頼はあるものの、長期利用者を中心に、医療機関への入院や施設入所などがあり、派遣数は前年度より減少しています。

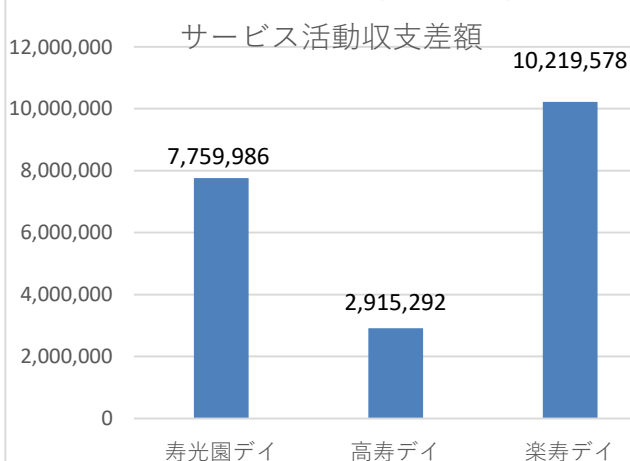
また訪問介護員の高齢化や退職もあり、新たな依頼を受けることができないケースもあって、減収減益となりました。それでも両訪問介護事業の収入額の66.6%を占め、サービス活動収支差額においてもその全てを占めています。

一方で柏原寿光園では、職員の高齢化や病欠等により、訪問可能な回数が減少して新たな依頼を受けることができないケースも多く、前年度をさらに下回る減収減益となりました。これを改善するために現体制の見直し等、根本的な対応策を講じる必要があります。

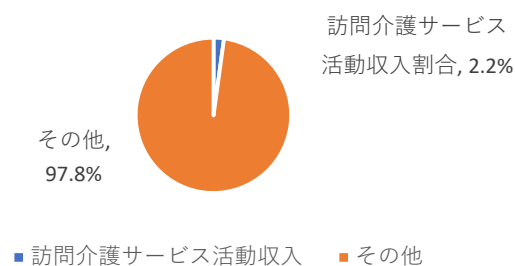
令和6年度（通所介護） サービス活動収入割合



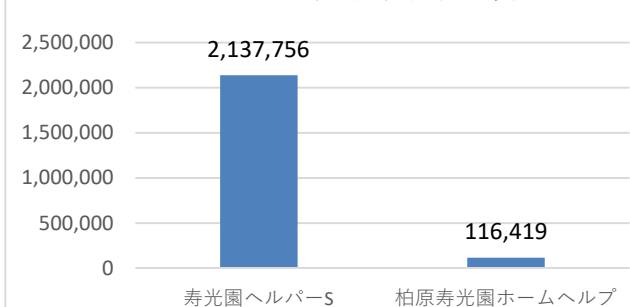
令和6年度拠点別（通所介護） サービス活動収支差額



令和6年度（訪問介護） サービス活動収入割合



令和6年度拠点別（訪問介護） サービス活動収支差額



【認知症対応型共同生活介護】

サービス活動収入	サービス活動収支差額
173,751,830	収益率 15,774,440
前期比 117.2%	9.1% 前期比 177.8%

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）のサービス活動収入は、法人全体の10.4%です。

寿光園では入居者が入れ替わりながらも安定した稼働率で、計画達成となりました。

コロナ禍で中止していた外での活動も徐々に再開し、さらに活動量を増やしてきました。

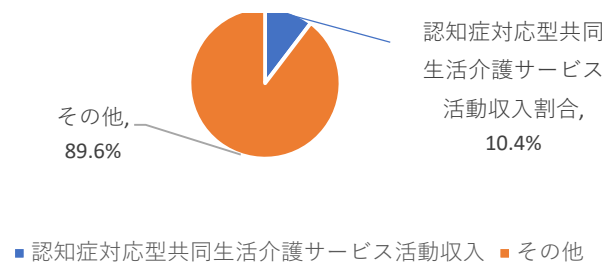
太寿では安定した稼働率を保っていた時期もあり、計画を達成した一方で、空床ができた時に、待機者がいなくて、すぐに新規入居者を迎えることができない状況もありました。

令寿の杜では、上半期は比較的安定していたものの、下半期に施設内でのコロナ流行や職員不足から、稼働率も職員体制も不安定な状況になり、計画未達に終わりました。

入居系事業に共通しているのが、待機者が少ないということで、稼働状況に大きく影響しており、関係機関との連携が最大の課題です。

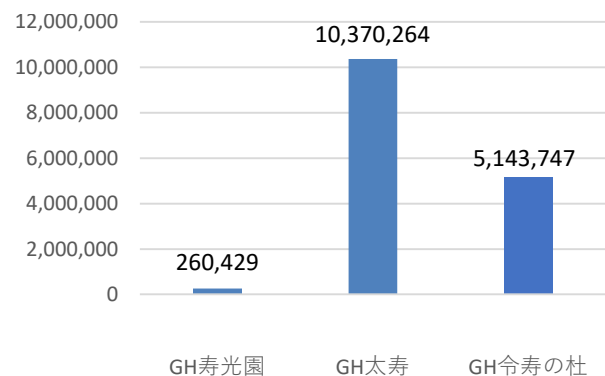
令和6年度（認知症対応型共同生活介護）

サービス活動収入割合



令和6年度（認知症対応型共同生活介護）

サービス収支差額



【本部・診療所/その他】

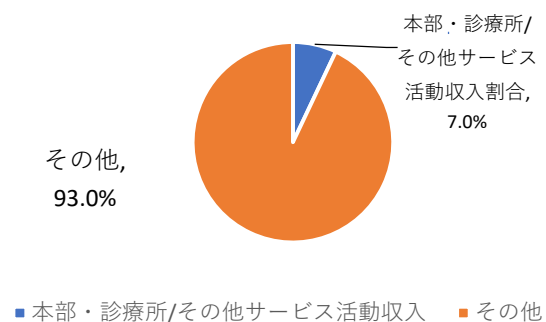
サービス活動収入	サービス活動収支差額
117,609,112	収益率 -19,670,532
前期比 99.9%	-16.7% 前期比 124.8%

本部・診療所・その他の事業のサービス活動収入では、赤字が約500万円解消されました。

これらの事業のサービス活動収支差額では、経理上、支出のみ計上されていく本部拠点と、市の委託事業のため収支差額のプラスを計上できない地域包括支援センター事業と、黒字計上できるケアプランセンター、診療所とが併記されています。そのため、これらの事業の合算の収支差額は赤字表記となりますが、今年度は、赤字が続いた住宅型有料老人ホーム安寿が前年度に廃業したため、赤字を前年比で500万円圧縮できて、マイナス約1,900万円になりました。

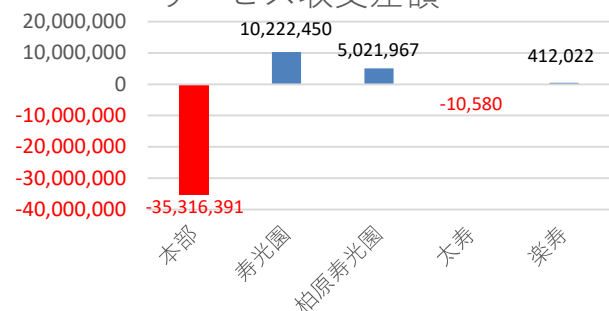
令和6年度（本部・診療所/その他）

サービス活動収入割合



令和6年度拠点別（本部・診療所/その他）

サービス収支差額



(4) 令和6年度各事業稼働状況一覧表

注：法人内で運営している事業の内、利用定員が設定されている事業のみ表示

拠点名	事業名	事業所名	定員	稼働年 日間数	利用年 間延 数ベ	利用月 平均 数	年R 稼働 率 間平 均度	年R 稼働 率 間平 均度	前年 度比 稼働 率	平均 介護 度	の職 利用 者一 人数 当
寿 光 園	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 寿光園	60	365	21,183	1,765.3	96.7%	96.2%	0.5%	3.94	2.0
	地域密着型 介護老人福祉施設	地域密着型特別養護 老人ホーム寿光園	16	365	5,628	469.0	96.4%	96.2%	0.2%	4.46	1.3
	短期入所生活介護	寿光園ショートステイ 事業部	13	365	3,462	288.5	73.0%	74.9%	-1.9%	3.42	2.2
	地域密着型 通所介護	デイサービスセンター 寿光園	18	309	4,065	338.8	73.1%	61.8%	11.3%	2.59	
	認知症対応型 生活介護	グループホーム寿光園	9	365	3,234	269.5	98.4%	95.9%	2.5%	1.82	1.1
柏 原 寿 光 園	従来型小規模介護 老人福祉施設	特別養護老人ホーム 柏寿	30	365	10,652	887.7	97.3%	97.2%	0.1%	4.26	1.7
	ユニット型小規模 介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 高寿	30	365	10,446	870.5	95.4%	96.0%	-0.6%	4.32	1.8
	短期入所生活介護	ショートステイ柏寿	10	365	2,318	193.2	63.5%	77.0%	-13.5%	3.04	2.8
	短期入所 生活介護	ショートステイ高寿	10	365	2,318	193.2	63.5%	74.0%	-10.5%	3.02	2.8
	地域密着型 通所介護	デイサービスセンター 高寿	18	310	4,344	362.0	78.0%	76.4%	1.6%	1.91	
太 寿	地域密着型 介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 太寿	29	365	10,337	861.4	97.6%	96.6%	1.0%	4.07	1.6
	短期入所 生活介護	ショートステイ太寿	10	365	2,088	174.0	57.2%	50.4%	6.8%	2.2	2.1
	認知症対応型 生活介護	グループホーム太寿	9	365	3,152	262.7	96.0%	98.3%	-2.3%	2.77	1.2
楽 寿	地域密着型 介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 楽寿	29	365	10,391	865.9	98.2%	97.9%	0.3%	4.24	1.3
	短期入所 生活介護	ショートステイ楽寿	10	365	2,092	174.3	57.3%	59.9%	-2.6%	3.21	3.0
	通所介護	デイサービスセンター 楽寿	30	309	7,599	633.3	82.0%	79.0%	3.0%	1.75	
令 寿	認知症対応型 生活介護	グループホーム 令寿の杜	18	365	6,074	506.2	92.4%	66.4%	26.0%	2.36	1.6

(5) 地域貢献事業

●大阪社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）

対象者（年齢・性別）	住居地	概 要	支援内容
70代 女性	八尾市	本人、長女家族の6人世帯。自宅が火災に見舞われ、居住支援により仮住まいとして文化住宅に転居。生活家電等の搬送支援を実施。	冷蔵庫・洗濯機・食器棚等の搬送支援
20代男性	柏原市	市社協からの相談ケース。30代妻と間に1歳と0歳の子供あり。就労が続かず、電気、水道、家賃の滞納、キャッシングに50万の借金。携帯代の滞納など。男性両親とも疎遠、援助見込めない。（市社協は就労の紹介を実施）	妻の休業手当金（約40万）が4月末に入る。当座の食料品の支給。滞納電気・水道代・通信費支給（継続中）

●柏原民間社会福祉連絡会 地域貢献事業

対象者（年齢・性別）	住居地	概 要	支援内容
20代・女性	柏原市	妊娠・出産の通院費用、生まれる子供の必要物品購入費用	10,000円
50代・女性	柏原市	独居 生保受給中 仕事に行く交通費が無い	3,000円
70代・女性	柏原市	生保受給中 通院のための交通費が無い	1,000円
30代・男性	柏原市	障害サービス利用者 全財産を入れた財布紛失 当面の生活費および仕事の交通費	10,000円
70代・男性	柏原市	障害ある子と同居 低栄養、脱水状態、通院するための受診費用・交通費・食費	10,000円
70代・男性	柏原市	独居 年金受給後現金引出直後財布を紛失 電気代支払い	10,000円
60代・男性	柏原市	体調不良 受診費用と交通費	10,000円
20代・男性	柏原市	就職決まるも、初回給料までの定期代、食費などの繋ぎ	10,000円
70代・女性	柏原市	電気代不払いにより止める通知。夏季高温で生命に関わるため支払い	10,000円
20代・女性	柏原市	就職決まるも蓄えなく、仕事用ユニフォーム購入費用と通勤費	10,000円
50代・男性	柏原市	保護世帯だが前月の収入が多く保護費カット。バイト交通費無く申請	570円

●宅配フードパントリー

拠点名	寿光園	柏原寿光園	太寿	楽寿	3月31日の状況
実施件数	0	3	0	0	現在継続中2件
相談のみ件数	0	3	0	0	現在継続対象者なし

●ふれあいサロン ※柏原寿光園拠点及び太寿拠点は100歳体操参加者含む

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
寿光園	開催回数	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
	参加者累計	10	10	11	8	0	9	9	7	7	6	13	11	101
柏原寿光園	開催回数	3	4	4	4	3	4	5	4	4	4	4	4	47
	参加者累計	8	14	8	6	3	14	16	16	21	25	25	18	174
太寿	開催回数	1	1	0	1	0	0	0	3	4	4	4	4	22
	参加者累計	5	4	0	3	0	0	0	47	61	73	79	72	344
楽寿	開催回数	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
	参加者累計	8	5	5	5	0	5	5	9	7	8	10	7	74

●『障害者作業所等の生産物の展示販売』※委託販売(法人外収益)

展示事業者名	主な商品	売上金額
りんごの木	ポーチ他	8,000円
風の森	造花・消臭炭	3,300円

(6) トピックス

【新型コロナ等感染症関係】

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが2類から5類に移行し、約2年が経過しました。コロナ対応が緩和されるにつれマスクの着用等も少なくなり、その影響もあってかインフルエンザ等の感染症も全国的に早期に拡大する中、各拠点では面会のあり方などを都度検討しながら、適宜対応して参りました。しかしながら、時として施設内でも感染が拡大し、更にはクラスターが発生するなど、ご入居の方々にはご心配をおかけすることもありました。

【令和6年度 各拠点感染状況】

拠点別	感染者(実人数)	寿光園	柏原寿光園	太寿	楽寿	令寿の杜	合計
新型コロナ	入居者等	26人	22人	1人	5人	3人	57人
	職員	22人	15人	9人	10人	2人	58人
インフルエンザ	入居者等	0人	0人	1人	2人	0人	3人
	職員	4人	3人	1人	5人	2人	15人
ノロウイルス	入居者等	0人	3人	0人	0人	0人	3人
	職員	0人	4人	1人	0人	0人	5人
その他	入居者等	1人	0人	0人	0人	0人	1人
	職員	0人	0人	0人	0人	0人	0人

【介護報酬改定】

令和6年度の介護報酬改定の改定率は、プラス1.59%となりました。内訳としては、介護職員の処遇改善分が「+ 0.98%」、その他の改定率が「+ 0.61%」となっています。「介護職員処遇改善加算」「介護職員等特定処遇改善加算」「介護職員等ベースアップ等支援加算」の3本立てだったものが、6月には「介護職員等処遇改善加算」という名称に1本化され、支給が始まりました。数字的にはプラス改定ではあるものの、全体的には「基本単位据え置き、加算重視」という印象でした。

【外国人人材の育成】

慢性的な介護人材不足が問題となっておりますが、その対策のひとつとして外国人人材の受け入れを国も後押ししております。寿光会としても特定技能や留学生などを積極的に受け入れ、労働力の確保を目指してきました。今後も人材確保のキーとなり得る外国人人材を継続的に受け入れ、教育していく体制の構築が求められています。

【令和6年度 各拠点外国人人材受け入れ状況（実人数）】

在留資格	寿光園	柏原寿光園	太寿	楽寿	令寿の杜	合計
特定技能	0人	5人	0人	0人	0人	5人
留学生	4人	0人	1人	0人	0人	5人
介護	1人	0人	2人	0人	0人	3人
その他	0人	0人	0人	0人	0人	0人
合 計	5人	5人	3人	0人	0人	13人

【寿光園拠点本館棟の改修計画】

昭和53年に開設した寿光園（八尾市楽音寺）は満46年を迎え、老朽化が進行し修繕必要箇所が日に日に増大する中で、営業を継続しております。やはり、給排水などの水回りやその他、設備面での様々な改修はその都度行っており、根本的な解決には至っておりません。今年度も長期課題検討委員会において改修方法や費用などについて協議してきましたが、大阪・関西万博開催の影響などもあって工事費高騰のあおりを受けており、計画が進まない現状があります。引き続き、具体的な改修方法を決定してまいります。

【職員誕生祝い金支給状況】

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

	本部	寿光園	柏原寿光園	太 寿	楽 寿	令寿の杜	法人全体
支給人数	5人	97人	81人	51人	65人	20人	319人
支給額計	130,000	2,475,000	1,910,000	1,070,000	1,485,000	380,000	7,450,000

週30時間以上の勤務者・・・3万円

週10時間以上20時間未満の勤務者・・・1万円

週20時間以上30時間未満の勤務者・・・2万円

週10時間未満の勤務者・・・5千円

（7）今後の課題

- 1、人材確保、人材育成： 例年と同じく、直接雇用による人材の確保が思うように進まず、派遣会社からの人材確保や短時間バイトなどに頼る機会が多々ありました。離職を防ぐのはもちろん、安定的な人材確保のために、職員の待遇・福利厚生等、労働環境の改善や充実を引き続き検討し、また外国人人材の受入れ体制を確立する等、安定的な人材確保を目指して行きます。
- 2、物価高騰対策の検討： 令和6年度は数えきれないほどの商品が値上げされ、また水道光熱費も値上げが続くものの、政府の補助金は単発的なもので、更なる事業者努力が求められる状況です。その中でも、10月には最低賃金が50円引き上げられ、人件費の圧迫もさることながら経費の削減が急務となります。事務費等の削減を念頭に置き、少しでも支出額が減らせるよう努めます。
- 3、入居待機者の確保： 中河内地域は、大阪府内でも有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅、高齢者専用住宅等が多く存在する地域であり、入居者の取り合いがここ数年激化している地域です。これにより、どこの施設も入居待機者が減少し空床ができて新たな入居者がなかなか決まらない現状があります。引き続き、病院や居宅のケアマネジャーなどと顔の見える関係性を構築し、密な連携に努めてまいります。

(8) 職員構成状況

※職員人数は、令和6年度1年間の勤務時間数を常勤換算(注)して算出した人数。

(注)常勤換算は、「172時間/月」として算出)

※派遣職員、委託業者職員等も、職員人数(実数・常勤換算数)に計上する。

※「入職者数」「退職者数」は令和6年4月1日～令和7年3月31日までの合計。

1、月平均在職職員数

期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

	本部	寿光園	柏原寿光園	太 寿	楽 寿	令寿の杜	法人全体
月平均職員数 (実人数)	5.0人	109.9人	107.3人	62.7人	67.5人	21.8人	374.2人
月平均職員数 (常勤換算人数)	3.7人	84.49人	69.4人	39.8人	45.5人	12.0人	254.9人

※人数には委託職員数及び特定技能、留学生等外国人職員も含む

※常勤換算は、実人数の総勤務時間数を172時間で除したもの＝常勤換算人数

(この場合、正規職員は有休を含み、契約・非常勤職員は有給休暇を含まない)

2、入退職数と離職率

期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日まで

	本部	寿光園	柏原寿光園	太 寿	楽 寿	令寿の杜	法人全体
入職者数 (実人数)	0人	8人	19人	10人	15人	6人	58人
退職者数 (実人数)	0人	4人	8人	9人	10人	4人	35人
離 職 率	0.0%	8.1%	9.1%	15.5%	9.5%	18.2%	***

※人数には委託の職員は含まない

※離職率の算出法：起算日(年度初めの日4/1)から1年間の離職者数÷起算日における在職者数×100

(この場合、1年間の間に新規採用した人数また、年度内に採用し、年度内に退職した人数は含まない)

参照：令和5年度『介護労働実態調査』結果によれば、2023年度介護職の離職率は13.1%であった。

3、職員の平均年齢と平均在職期間

令和7年3月31日現在に在職する者

	本部		寿光園		柏原寿光園		太 寿		楽 寿		令寿の杜		法人全体	
職員平均年齢	52歳1ヶ月		51歳12ヶ月		51歳4ヶ月		53歳8ヶ月		53歳4ヶ月		52歳3ヶ月		52歳5ヶ月	
職員平均 在職期間	9年5ヶ月		12年5ヶ月		8年6ヶ月		9年7ヶ月		6年11ヶ月		3年2ヶ月		8年4ヶ月	
男女比率	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	60.0%	40.0%	24.5%	75.5%	20.2%	78.8%	10.3%	89.7%	26.5%	73.5%	21.7%	78.3%	21.7%	78.3%
介護職比率	***		75.5%		75.3%		87.9%		58.8%		95.7%		74.5%	

※委託・派遣の職員は含まない